

【その他の募金等】

1 災害等準備金取崩し金助成（安心・安全なまちづくり支援事業）

（単位：個・円）

団体名	事業内容	配布数	助成額
県小学校長会（120校）	令和5年度新入学児童への 防犯ブザーの頒布	4,543	980,001
県特別支援学校長会（8校）		72	
		4,615	980,001

※（株）FM山陰との共同事業。

2 民間資金助成事業への協力（（公財）中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦）

交付枠：6,350千円 助成成件数：8団体

（単位：千円）

法人・施設名	内 容	推薦額	決定額
更生保護法人 鳥取県更生保護給産会	食堂用家電の購入	960	960
社会福祉法人ふれあい 岩井長者寮	浴槽の改修工事	200	200
社会福祉法慶愛会 大山やすらぎの里	屋上の防水工事	1,100	1,100
社会福祉法人みその児童福祉会 米子聖園コスモス	心理室への改修工事	1,070	1,070
社会福祉法人希望の家 希望の家	オストメイトの設置工事	470	470
社会福祉法人まつぼっくり まつぼっくり事業所	食堂床の修繕工事	450	450
社会福祉法人日南福祉会 デイサービスセンターあかねの郷	送迎車両の購入	1,000	1,000
社会福祉法人いずみの苑 いずみの苑	送迎車両の購入	1,100	1,100
計		6,350	6,350

3 共同募金以外の寄付による助成

ア 企業等からの寄付

（単位：円）

寄付者	寄付額	助 成 先	助成額	助成事業
アサヒ飲料(株) (東京都)	100,000	宮前こども食堂 (南部町宮前)	50,000	こども食堂運営費
		子どもの応援隊おいでおいで (境港市幸神町)	50,000	
プロゴルフ協議会	200,000	米子聖園コスモス	200,000	母子生活支援施設

イ 企業からの物品寄付による助成

(単位：円)

寄 付 者	物品寄付	助 成 先	助成内容	助成額 (円)
アサヒ飲料(株) (東京都)	三ツ矢サイダー 2ケース(500ml×24本入)	宮前子ども食堂 (南部町宮前)	三ツ矢サイダー 各4ケース	13,440
	カルピスウォーター 2ケース(500ml×24本入)	子どもの応援隊 おいでおいで (境港市幸神町)	カルピスウォーター 各4ケース 計 8ケース	

ウ 中央共同募金会を通じた寄付 (全国キャンペーン)

新型コロナウイルス感染症の影響を受けて顕在化した課題に取り組む活動を支援したいとして、中央共同募金会に寄せられた寄附金を原資として、全国の共同募金会が協働して取り組んだ。

団 体 名	受入日	主な用途	種 別	原 資	内 訳 (千円)		助成 件数
					助成額	事務費等	
日本中央競馬会 (JRA)	R4.3.4	パンデミックの 影響を受けて顕 在化した課題に 取り組む活動	R3 一般	5,000	4,370	事務費 500 災害積立金 130	30
	R4.4.22		R4 その他	3,000	2,700	300	
計				8,000	7,070	930	
ホーチキ 株式会社	R4.3.18	新型コロナによ る生活困窮者の 支援を主に	R3 一般	300	300	0	
3 団 体	R4.6.3	児童や新型コロ ナにより困窮し ている方々の支 援を主に	R4 その他	770	700	0	
				554 42.	554 42.	0	
				300	300	0	
	計	554 1,112.	554 1,112.	0			
合 計				554 9,412.	554 8,482.	930	
緊急助成金〔過年度の助成金戻入額〕					446 17.		
総 合 計				554 9,412.	8,500	930	

【 これまでの経緯 】

〔令和2年度〕

名 称	募集期間	原 資	内 訳 (千円)		助成 件数
			助成額	事務費等	
全国キャンペーン	R2. 5. 18 ~ 9. 30	<u>102</u> 3,985.	3,590	<u>102</u> 395.	19
みんなでエールキャンペーン	R2. 10. 22 ~ R3. 1. 29	<u>021</u> 4,002.	1,830	400	10
合 計		<u>123</u> 7,987.	5,420	<u>102</u> 795.	29
原資の残額は「共同募金（一般）」へ繰入			<u>021</u> 1,772		

〔令和3年度〕

名 称	募集期間	原 資	内 訳 (千円)		助成 件数
			助成額	事務費等	
全国キャンペーン	R3. 4. 1 ~ 6. 30	3,000	2,700	300	14
原資不足し「過年度の助成金戻入額」から繰入			1,050		5
合 計		3,000	3,750	300	19

令和4年度 赤い羽根 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン (全国キャンペーン) 助成一覧

(単位:千円)

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
①	更生保護法人 鳥取県更生保護給産会 〔更生保護施設〕	理事長 霜村 哲男	更生保護施設 〒680-0824 鳥取市行徳3丁目815	コロナウイルスまん延 防止を施設内で行うた めの物品購入 〔衛生資材の購入〕	489	480	更生保護施設で生活する寮生や就業している職員のコロナウイルスまん延防止のため、助成金を活用してスタンド式の体温測定器、加湿空気清浄機、加湿器、また食堂・事務所で使用するパーティションを購入する。 ・非接触温度感知カメラ 1台 ・パーティション 卓上用3枚、受付用1枚、机上用10枚 ・加湿空気清浄機 18畳用2台、2.3畳用1台
②	特定非営利活動法人あおぞら (就労継続支援B型事業所) 〔放課後等デイサービス〕	理事長 瀬田 智子	あおぞら 〒683-0804 米子市米原一丁目7-1	新型コロナ感染症対策 のためのリモートWEB 研修促進整備事業 〔情報機器整備〕	145	140	コロナ禍により対面での研修会等がすべてリモート開催となっている。しかしながら現有機器は10年前の機種のため、不具合がたびたび発生し十分な対応ができない。 そのため、リモート研修に十分対応できる環境を整備するとともに、製作している手芸品のネット販売など、新たな販路拡大にもつなげたい。 ・カメラ付きノートパソコン 1台
③	東郡家地区まちづくり委員会 〔まちづくりカフェ〕	委員長 山根 張太郎	〒680-0422 八頭郡八頭町門尾31-1	ふれあいの里たから まちづくりカフェ事業 〔健康運動器具整備〕	630	200	コロナ禍により外出機会が減少し、高齢者だけでなく子ども達のロコモティブシンドローム(運動機能の低下)が懸念されている。 そのため、年齢・障害の有無・性別などの違いを超えてすべての人が一緒に競い合えるスポーツ「ポッチャ」を取り入れることにより、健康被害を防止するとともに、小学校・保育所・障がい者施設など巻き込んだ地域交流を展開する。 ・「ポッチャ」用具 一式 ※利用料 400千円=@150円×40名×51回
④	特定非営利活動法人 ワークショップ・アクティ ブ 〔就労継続支援B型事業所〕	理事長 竹下 直希	ワークショップアク ティブ 〒683-0846 米子市安倍129-7	障がい者就労継続支援 活動における新型コロ ナウイルス感染症対策 事業 〔衛生設備整備〕	520	500	設置後20年を経過した空調機器の劣化により、冷暖房能力、換気能力の低下が著しく利用者の体調管理に苦慮している。 特に、体調維持に注意が必要な内的疾患のある利用者が複数名いることから、換気機能を有する空調設備を早期に更新したい。 ・天井据付型エアコンの更新 一式
⑤	特定非営利活動法人 さざなみ作業所 〔就労継続支援B型事業所〕	理事長 河越 忠志	さざなみ作業所 〒680-0804 鳥取市田島814	新型コロナ感染症対策 のための機器整備事業 〔衛生設備整備〕	550	500	設置後29年を経過した空調機器の劣化により、異音が発生し冷暖房能力も著しく低下している。 修理のための部品が既にメーカー側になく、適切な管理も不可能な状態となっている。 このため、コロナ対策を徹底するためにも換気機能を有する空調設備に早期に更新したい。 ・天井据付型エアコンの更新 一式

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑥	下私部地区まちづくり委員会 〔まちづくりカフェ〕	委員長 岡森 裕	〒680-0435 八頭郡八頭町大坪69-1	地域の小学生を対象と した勉強会及び高齢者 との交流会 〔衛生設備整備〕	220	200	夏休期間など活用して小学生の学習支援や地域の高齢者との交流事業を実施している。 毎回、多くの参加者があることから、一層の感染対策を徹底するため、非接触型検温器とハンドスプレーが一体となった機器を整備するとともに、消毒の効率を上げるための電動ガンズプレーを購入したい。 ・非接触型検温器 1台 ・電動ガンズプレー 1台 ・ケーブル等 一式
⑦	特定非営利活動法人 ライフサポートともだち 〔放課後等デイサービス〕	理事長 青砥 綾生	キッズクラブともだち 〒689-4115 西伯郡伯耆町小町313-8	利用児童の療育・学習 面の向上を図るための 事業 〔情報機器整備〕	343	340	コロナ禍を主な要因に学校現場でのオンライン学習が盛んに取り入れられ、子どもたちにタブレット端末が配布されている。 障がい児にとってもタブレット端末を使った学習は、楽しみつつ苦手なことや特性をサポートしながら学べるツールとして有効であり、療育を行う上での必要性が認められることから、汎用型タブレットを購入したい。 ・タブレット端末 6台 プロジェクター 1台
⑧	特定非営利活動法人 このゆびとまーれ 〔放課後等デイサービス、生 活介護、ケアホーム ほか〕	理事長 藤原 美江子	このゆびとまーれ 〒680-0911 鳥取市千代水一丁目37	日中、放課後に通って くる地域重度障がい児 者の支援及び住まいの 支援 〔衛生機器整備〕	172	170	重度の障がい児・者が過ごす放課後等デイサービス事業所、障がい福祉サービス事業所(ケアホーム等)を運営している。 事業所利用者の多くは医療行為(気管切開、経管栄養、酸素吸入、導尿等)が必要な者である。 ハイリスクな利用者を新型コロナウイルス感染症から守るため、施設内の活動スペースを定期的に消毒・除菌しているが、経費負担がかかっている。 このため、水と電気により除菌水の生成が可能となる機器を整備したい。 ・オンソク水生成器 4台
⑨	鳥取県重症心身障害児(者) を守る会	会長 伊井野 一郎	〒689-2312 東伯郡琴浦町金屋343 中原 正 様方	障がいのある子供たち の生活を有意義にする ための研修会 〔研修会開催経費〕	85	80	重症心身障がい児(者)、医療的ケア児など様々な困難を抱える家族とその支援者等を対象に、コロナ禍にあっても生きいきと暮らすことができる術を共に学び、日々の暮らしを有意義に過ごせるようにするための研修会を開催する。 ○講師 下川和弘先生(NPO法人地域ケアさばーと研究所 理事)
⑩	県民総合福祉大会実行委員会	委員長 藤井 喜臣	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	県民総合福祉大会 〔衛生機器整備〕	198	190	新型コロナ感染症が拡大した令和2年度及び3年度は、その影響から書面開催とせざるを得なかったが、本年度は感染拡大が収束したとは言えないものの、一時のように感染者が著しく増加している状況にはない。 これらのことから、実行委員会としては3年ぶりに集合での開催を予定しているが、参加者が約1,500人と多数であり、また会の運営上、開始前後と閉会前後に参加者が集まることから三密を回避する必要がある。 このため、高精度のモニタ型体温測定機を設置し人流を円滑にすることにより混雑を回避して、感染予防対策を徹底した安全な大会運営としたい。 ・モニタ型A Iサーマルカメラ 2台

資料番号	法人名	代表者		施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑪	一般社団法人 鳥取県手をつなぐ育成会	会長	大谷 喜博	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	楽しむ・考える・話し合う ～本人たちの交流と、 保護者・支援者の地域 活動のひろがり支援～ 【情報機器整備】	205	200	コロナ禍により研修会、交流会などがオンラインに切り替わってきたが、会員やその家族は障がいの特性のため外出を控えたり、IT端末に関する知識や操作技術が追いついていないため、受動的な姿勢での参加にとどまっている。 しかしながら、オンラインでの研修会や交流会を通して相互の資質向上を図り、活動の輪を地域・県内へと広げることが大変重要であると考えている。 このため、オンラインに対応できる機器を整備し、障がいの情報通信技術の利用拡大や活用能力を図ることにより、情報アクセシビリティや情報バリアフリーを推進し、障がいの主体的な活動や社会参加の促進につなげたい。 ・ノートパソコン 1台 WEBカメラ 1台
⑫	鳥取県民医療機関連合会	会長	中田 幸雄	〒680-0833 鳥取市末広温泉町211 レインボーセンター別館2階	新型コロナウイルスの 感染拡大をきっかけ に、生活に困難を抱え る人々を支援する食 糧支援活動「食料無料 市」 【食料購入】	600	200	コロナ禍の影響を受けた様々な世代を応援しようと、コメなどの主食の食材セットと野菜などの食料を配布する「食料無料市」を、県内の公営住宅の住民を対象に昨年12月から4か所で展開してきた。 今後も、ひとり親や低年金高齢者、老々介護の世帯などを対象に食材を届ける活動を継続するため、コメや乾麺、野菜などを購入する経費に対し助成していただきたい。【その他の財源：自己財源300千円、寄付金100千円】
⑬	社会福祉法人鳥取こども学園	理事長	藤野 興一	おたべ食堂 (旧立川こどもクラブ) 〒680-0061 鳥取市立川町5丁目417	おたべ食堂における衛 生食材整備及び食材購 入	500	500	コロナ禍により「会食」でのこども食堂を開催できないため、令和2年2月から「弁当配布」に切り替えて実施している。 今後は感染状況を注視しつつ、感染リスクを適切に管理しながら「会食」での再開を予定している。(毎月第2木曜日⇒第2・第4木曜日) については、3面式パーティションの設置により感染防止対策を徹底するとともに、食事提供に必要となる食材の購入費に対して助成していただきたい。 ・ウイルス対策アクリル板(3面式) 25個 ・食材費 100人×9月(2回/月)
⑭	一般社団法人 鳥取県母子寡婦福祉連合会	理事長	井田 智子	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	ひとり親家庭交流ほっ とカフェ事業 【交流会開催】	120	110	コロナ禍の影響により、就労環境が激変し収入が減少したり、外出の自粛が求められるなど、生活に困難を感じストレスを抱えているひとり親世帯が増加している。 このため、そんな親子がつかうの間でも笑顔で過ごし、楽しかったと思える体験を実施するため、その経費に対して助成していただきたい。 ・ほっとカフェ事業 ・ボランティアと共に過ごす体験 など
⑮	丹比地区まちづくり委員会 【まちづくりカフェ】	委員長	小谷 知哉	〒680-0607 八頭郡八頭町徳丸578-1 八東保健センター内	花植え・育成・観賞を 通したつながりづく り・社会交流・高齢者 のフレイル予防活動	110	100	コロナ禍により地域との関わりがなくなり孤立や孤独が懸念されることから、活動拠点である八東保健センターを会場に、地域住民に参加を呼び掛け「春咲き花の球根を植える交流会」を開催したい。 鉢植えは参加者自身が持ち帰って世話をし、手入れや成長の様子を撮影するなどして活動のなかで話題にしながら、春の開花を目指す。 また、地域の小学校へメッセージと共に鉢植えを届け、地域で春の開花を楽しみに待ちながら新たなつながりづくりへと発展させたい。 ・球根、腐葉土、植木鉢、シャベル など(70鉢分)

資料番号	法人名	代表者		施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑯	特定非営利活動法人 大山綿の花	代表	荒田 楠	〒683-0054 米子市稲町2丁目44	地域のおとなや子ども への居場所提供&リク エストを叶える体験事 業	200	200	コロナ禍で外出が制限されている子どもたち、家庭環境や経済的な理由から自然と触れ合う機会の少ない子どもたちに、自然遊びや地域の大人と触れ合う楽しさを感じてもらえるような機会を提供する。 ○主な活動 夏(8月):水遊び・釣り・カニ取り・貝拾い 秋(11月):葉拾い・紅葉狩り 冬(2月):雪山歩き・竹ざり作り・そり遊び ○活動経費 ・保険料、材料費、食材費、講師謝礼、広報費
合計【第1次】						5,087	4,110	
①	特定非営利活動法人 楽 (就労継続支援B型事業所) (生活介護)	理事長	井手添 敬子	コミュニティーハウス 楽 【多機能型事業所】 〒682-0022 倉吉市上井町1丁目12	新型コロナウイルス感染症対策 のためのリモートWEB 研修促進構築事業 【情報機器整備】	214	200	コロナ禍により対面での研修会等がすべてリモート開催となっている。 しかしながら現在は業務用パソコン1台のみのため、通常業務に支障が出てしまう。 このため、リモート研修等専用の機器を整備することにより、職員の資質向上と業務効率の向上を図りたい。 ・カメラ付きノートパソコン 1式
②	特定非営利活動法人 幸伸 (就労継続支援B型事業所)	理事長	岡本 貴晃	レゴリス旗ヶ崎 〒683-0854 米子市旗ヶ崎7丁目11-27	新型コロナウイルス感染症対策 のための機器整備事業 【衛生設備整備】	195	190	感染対策として検温・手指消毒の徹底、空気清浄機の設置など利用者の体調管理に努めているが、検温はその都度リセット操作が必要であり、また手指消毒も手動のため、どうしても混雑が起きてしまう。 このため非接触型検温器と手指消毒とが一体となったスタンド型検温器を整備することにより、さらなる感染予防対策の向上を図りたい。 なお、事業所が3か所に分散しているためそれぞれに設置したい。 ・非接触型検温器(自動消毒噴霧器付) 3台
③	特定非営利活動法人 さざなみ作業所 (就労継続支援B型事業所)	理事長	河越 忠志	さざなみ作業所 〒680-0804 鳥取市田原814	新型コロナウイルス感染症対策 のためのトイレ洋式化 改修 【衛生設備整備】	373	370	男性利用者が用トイレが和式のため、障がいの程度により利用が難しい者もいる。 また、蓋がないことから使用後にウイルスの飛散も考えられるなど、安全面・衛生面から早急に洋式トイレに改修し改善を図りたい。 ・洋式トイレへの改修 1か所
④	特定非営利活動法人 とっとり未来 (就労継続支援B型事業所)	理事長	坂口 愛子	とっとり未来 〒680-0845 鳥取市富安1丁目77	新型コロナウイルス感染症対策 のための機器整備事業 【衛生設備整備】	167	160	感染対策として検温・手指消毒の徹底、室内の換気など利用者の体調管理に努めているが、検温は手動式でその都度リセット操作が必要であり、また手指消毒も手動のため、どうしても混雑が起きてしまう。 このため非接触型検温器と手指消毒とが一体となったスタンド型検温器を整備するとともに、空気清浄機とサーキュレーターを整備することにより一層の換気に努め感染予防対策の向上を図りたい。 ・非接触型検温器(自動消毒噴霧器付) 1台 ・空気清浄機 1台 ・サーキュレーター 3台

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
⑤	社会福祉法人 光生会 (障害者支援施設) (就労継続支援 B 型事業)	理事長 鎌田 真治	米子ワークホーム ワークなざら 〒683-0021 米子市石井1223-1	新型コロナウイルス感染症予防 対策のための環境整備 事業 【衛生設備整備】	328	320	新型コロナウイルス感染症予防対策として除菌剤を散布し拭いているが、さらに効率的な散布が可能となるスプレーヤーを導入することにより、利用者が安心して作業・食事ができる環境を整える。 ・ハンドスプレーヤー 2台 ・除染洗浄剤 2箱
⑥	社会福祉法人 大徳会 (経費老人ホーム)	理事長 吉田 明正	経費老人ホーム玉真園 〒689-3226 西伯郡大山町大塚717	オンライン地域交流事業 【情報機器整備】	530	500	コロナ禍のため地域交流や家族との面会に制限がある中、利用者にとってオンラインによる観光地巡りや祭りの見学、水族館や動物園等の映像を鑑賞することが大きな楽しみとなっている。 このため利用者が密になることなく画面で映像が見られるようプロジェクター(投射機)を整備し、感染対策を十分にとりながら利用者の要望に応えることにより処遇の向上に努めたい。 ・プロジェクター(投射機) 1台
⑦	社会福祉法人 慶愛会	理事長 浅田 明枝	大山やすらぎの里 〒689-3333 西伯郡大山町唐王208	地域住民の健康カアップ及び引きこもり防止のための元気アップ教室・健康クラブ 【運動用器具整備】	291	290	地域住民の健康カアップと新型コロナウイルス感染症の流行により閉じこもりがちになった住民のために、憩いの場の提供を目的とした体操教室や手芸教室等を実施している。 地域の公民館での出張運動教室を開催するために必要となる運動用具(ユニット式会議テーブル)を整備し、少しでも住み慣れた自宅で過ごせるよう活動を継続したい。 なお、本事業は生活習慣病の方が多く保険料も高い地域であったことから、当時の大山町が始め、その後本法人が引き継いで実施しているもの。 ・運動用具(ユニット式会議テーブル) 6台
合計【第2次】					2,098	2,030	
①	特定非営利活動法人 さざなみ作業所 (就労継続支援 B 型事業所)	理事長 河越 忠志	さざなみ作業所 〒680-0804 鳥取市土島814	リモートWEB研修促進 構築事業 【情報機器整備】	181	180	コロナ禍により対面での研修会等がすべてパソコンを通してのリモート開催となっている。 現有機器は業務用パソコン1台のみのため、受講のたびに通常業務に支障が出てしまう。 このため、リモート研修等専用のパソコンを整備することにより、職員の資質向上と業務効率の向上の両立を図る。 ・カメラ付きノートパソコン 1式
②	社会福祉法人 手をつなぐ福祉会 (就労継続支援 B 型事業所)	理事長 小谷 輝美	かめの会作業所 かめのバン屋さん 喫茶レインボウ 〒680-0912 鳥取市栄町203-11	新型コロナウイルス感染症対策 構築事業 【衛生設備整備】	124	120	感染対策として検温・手指消毒の徹底、空気清浄機の設置など利用者の体調管理に努めているが、検温はその都度リセット操作が必要であり、また手指消毒も手動のため、どうしても混雑が起きてしまう。 このため検温器と手指消毒とが一体となった検温器を整備することにより、感染予防対策の向上を図る。 ・非接触型検温器(自動消毒噴霧器付) 2台

資料番号	法人名	代表者	施設名 (所在地)	事業内容	総事業費	助成額	内容
③	一般社団法人 はまゆう (就労継続支援 B 型事業所)	代表理事 若原 紀子	はまゆう 〒684-0052 境港市妻垣町85-5 (水木しげるロード)	新型コロナウイルス感染症対策 構築事業 【情報機器及び衛生設備整備】	275	270	研修会等がすべてリモート開催となっているが、現有機器は業務用デスクトップパソコン1台のみのため、通常業務に支障が出てしまう。 このため、リモート研修等専用のパソコンを整備することにより、職員の資質向上と業務効率の向上の両立を図る。 ・カメラ付きノートパソコン 1式 感染対策をより徹底するため、非接触型検温器と手指消毒とが一体となったスタンド型検温器を整備する。 ・非接触型検温器(自動消毒噴霧器付) 1台
④	公益社団法人 鳥取県老人クラブ連合会	会長 岡森 裕	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	「とっとり方式認知症 予防プログラム」普及 啓発事業 【情報機器整備】	385	380	高齢者の健康づくりや仲間づくりを目的として研修会を県内各地で開催していたが、コロナ禍により集合形式での実施や講師等の派遣が難しい状況にある。 このため ICT を利用することによりオンラインで開催し、地域の高齢者のフレイル予防や認知症予防のための活動を継続する。 ・ノートパソコン 1台、WEB専用カメラ 1台、マイクスピーカー 1台
⑤	鳥取県介護支援専門員連絡協議会	会長 石田 良太	〒689-0201 鳥取市伏野1729-5	介護支援専門員の知識・技術向上のための 研修会 【情報機器整備】	484	480	会員の知識・技術の向上を目的に、県内外から講師を招き研修会を開催していたが、コロナ禍により対面での開催が困難となった。 また、初任段階の会員を対象に知識と経験豊富な主任ケアマネを派遣し、資質向上のための研修会を開催していたが同様に難しくなった。 このため、リモート研修等専用の機器を県内3か所の支部に整備し、オンラインによる職員の資質向上と業務効率の向上を図りたい。 ・カメラ付きノートパソコン 3台
⑥	特定非営利活動法人 楽 (就労継続支援 B 型事業所) (生活介護)	理事長 井手添 敬子	コミュニティーハウス 楽 (多機能型事業所) 〒682-0022 倉吉市上井町1丁目12	新型コロナウイルス感染症対策 (密回避)のための作業 室改装事業 【作業環境整備】	601	500	利用者が作業を行う部屋が1階と2階にあるが、2階が和室のため座席での作業となることから、利用者が1階に集中してしまう。 このため、2階をフローリングに改修することにより密な状態となることを解消する。 併せて、作業用のいすも整備する。 ・床改修 1式、椅子 12脚
合計【第3次】					2,050	1,930	
①	社会福祉法人鳥取県厚生事業団 障害福祉サービス事業所 すずかけ (就労継続支援 B 型事業所)	所長 小谷 昭男	障害福祉サービス事業所 すずかけ 〒689-0425 鳥取市鹿野町今市1550	新型コロナウイルス感染症対策 のための機器整備事業 【衛生設備整備】	419	410	新型コロナウイルス感染症予防対策として、利用者が一度に集まる食堂にだけは空気清浄機を設置しているが、多くの時間を過ごす作業室には設置できていない。 この冬は新型コロナウイルスだけでなくインフルエンザの流行も懸念されている。 このため3か所の作業室に空気清浄機とサーキュレーター、さらに事務室にサーキュレーターを設置することにより、感染防止対策の徹底を図る。 ・空気清浄機 5台 ・サーキュレーター 4台
合計【第4次】					419	410	
総合計					9,654	8,480	